

教育あきた

8月号

2025 No.761



主な内容

HOT VOICE	秋田県教育委員会教育長 安田浩幸	P 2
事業紹介	ビブリオバトル2025 in AKITA	P 3
事業紹介	生徒指導総合支援事業	P 4
事業紹介	高校入試Web出願システム	P 6
TOPICS	令和7年度県立・市立高等学校等授業料無償化の制度について ...	P 8
事業紹介	第50回全国高等学校総合文化祭	P 9
S P O T	各企画展のご紹介	P 10
お知らせ		P 11

富士登山

秋田県教育委員会教育長 **やす だ 安田** **ひろ ゆき 浩幸**



38年前、友人と富士山に登ったことがある。その頃から富士登山は人気で、夏ともなると老若男女を問わず多くの人が気軽に登っていた。当時は「弾丸登山」という言葉もなく、むしろ夜通し一気に登るのが当たり前だと思われていた時代だった。

午後6時に新宿駅西口バスターミナルを出発し、約2時間半かけて5合目の富士吉田登山口に到着。そして午後9時過ぎ、準備万端整えて登山を開始した。ゆっくり登っても山頂までは6～7時間ということで、午前4時半のご来光に間に合う計算であった。その日はあいにくの曇り空だったが、5合目はすでに雲の上で、眼下は一面の雲海、見上げれば満天の星空。月や星が手の届きそうなほど近くに感じられる。富士山の場合、上の方は背丈の高い樹木がほとんどないので、月明かりで山頂付近までよく見える。8合目、9合目の山小屋の灯りや、それを目指して登っている人たちの懐中電灯の光の列もはっきり見える。気持ちの昂ぶりもあり、前半はハイペースで進んでいたものの、3000メートルを越えたあたりからは空気が薄く、少し歩くと息が切れる。苦しいので休む回数も増える。岩だらけの登山道も、足場が悪いうえに傾斜もきつくなり、9合目を過ぎてからは一步一步と重い足を踏み出しながら上を目指した。そして、ようやく山頂にたどり着き、雲海から現れたご来光を仰いだときは、頑張っただけで来て本当によかったと心の底から思ったことを記憶している。

なぜ富士山頂を目指したのか。それは3776メートルからでなければ見ることのできない景色を見てみたかったから。登山に限らず、人が何かのことを頑張れるのは、そこにたどり着いた者だけが見たり感じたりできるものがあるからだと思う。人生を振り返ってみれば、その場所からでなければ見えないものを沢山見逃して

きたような気がする。それは旅先での景色だけではない。経験の積み重ねの中で一步踏み出し、あるいは違った選択をしていれば、見ることのできた景色があったに違いないという思いでもある。

また、山頂を目指して一步步登っていく感覚は、目標に向かって努力を積み重ねる姿に似ている。確実に歩を進めていくことこそ、何かを成し遂げるために必要な行為だと実感できる。特に夜の富士登山では、目指すのは次の山小屋の灯りであり、その先にある山頂の灯り。登山と人の生き方が重なって見えてくる。

さらに、上に行けば行くほど苦しくなるという状況も人生に似ている。仕事などでも経験を重ねていくにしたがって責任が増し、苦しい場面も増えてくる。スポーツの大会でも勝ち進んでいくと強豪との厳しい闘いが続き、それを乗り越えなければ栄冠を勝ち取ることはできない。富士登山が人生の縮図のように感じられて、様々な思いを抱かせてくれる。

ご来光の余韻が残る中、富士山頂浅間大社奥宮への参拝をすませ、一生に一度の3776メートルでの朝食を堪能した後、早速、下山の準備に取りかかる。戻りは静岡県側に下りる須走ルート。7合目から下は「砂走り」とよばれる火山灰の砂地を、直線的に一気に駆け下りる。5合目にたどり着いて振り返ってみると、そこには人々の思いなど少しも気にとめないような、富士山の雄大な姿があった。

江戸時代の頃から、富士山にちなんだことわざに「一度も登らぬ馬鹿、二度登る馬鹿」がある。最近では、弾丸登山だけでなくオーバーツーリズムやマナー違反の問題などもよく報道されるが、まだ登ったことのない方は、ぜひ一度は富士登山に挑戦してみたい。もしかすれば、人生を見つめ直す、あるいは人生を変える機会になるかもしれない。

知的書評合戦

ビブリオバトル 2025 in AKITA

📖 「ビブリオバトル」とは？

ルールは簡単！「読みたい！」と思わせた人が勝ち

発表者（バトラー）がお薦めの本の魅力を5分間で紹介し、2～3分のディスカッションの後、聞いていた人たち全員で「一番読みたくなった本」（チャンプ本）を投票で決める知的書評合戦です。

📖 ビブリオバトル 2025 in AKITA

中高生バトラー募集中！観覧はどなたでも！（入場無料）

【地区大会】

地区	開催日	時間	会場	問い合わせ
北鹿	10月26日（日）	中学生10：30～ 高校生14：00～	大館市立栗盛記念図書館	北教育事務所 0186-62-1217
能代	11月2日（日）	中学生10：30～ 高校生14：00～	能代市立能代図書館	
秋田	10月18日（土）	中学生10：40～ 高校生13：30～	ふれあーるAKITA （フォンテAKITA6階）	生涯学習課 018-860-5184
由利本荘	10月13日（月・祝）	中学生・高校生合同 10：30～	由利本荘市文化交流館カダーレ	
大仙	10月26日（日）	中学生・高校生合同 13：00～	大仙市仙北ふれあい文化センター	南教育事務所 0182-32-1101
横手	10月25日（土）	中学生・高校生合同 13：00～	横手市生涯学習館Ao-na	
湯沢	11月9日（日）	中学生・高校生合同 13：00～	湯沢市役所	

【県大会】

日時：令和7年11月29日（土）

会場：秋田拠点センターアルヴェ



ビブリオバトル in AKITAの詳細はこちらから→



昨年度のビブリオバトル県大会の様子

📖 同時開催!! 小学生ポップバトル 2025 in AKITA

応募メ切：9月26日（金）

ポップとは、図書館や書店等でよく見かけるおすすめしたい本を紹介するためのカードです。県内在住の小学生を対象にポップを募集し、「ビブリオバトル 2025 in AKITA」の会場で展示・投票を行います。入賞者には賞状及び副賞として図書カードが贈呈されます。ぜひご応募ください。

小学生ポップバトル in AKITAの詳細はこちらから→



生徒指導総合支援事業

本県では、悩みや不安を抱えた児童生徒等に対して適切な支援ができるよう、地域や学校の実情に応じてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等を配置するとともに、電話やSNSを活用して相談に対応する「生徒指導総合支援事業」を実施しています。こうした取組を一層充実させることにより、不登校やいじめ等の問題行動の未然防止や改善を図ることを目指しています。



中学校スクールカウンセラー配置事業

- ・心理の専門家であるスクールカウンセラーを配置し、不登校やいじめ問題等の相談に乗ることで、学校における教育相談体制の充実を図ります。
- ・公立100中学校に配置し、児童生徒及び保護者等のカウンセリングや未然防止に関わる活動を行います。



広域カウンセラー配置事業

- ・公立小学校等の教育相談等に対応するために、北・中央・南の3教育事務所にエリアカウンセラーを配置し、学校における教育相談体制の充実を図ります。
- ・公立小・中学校及び県立学校において突発的な事案により、児童生徒等への心のケアが必要になった場合は、緊急支援カウンセラーを派遣し、緊急支援を行います。

スクールソーシャルワーカー活用事業

- ・県内8か所にスクールソーシャルワーカーを配置し、様々な困難を抱える児童生徒や保護者等への相談に応じたり、福祉関係機関等と連携して必要な支援につなげたりします。
- ◆申込みは、「美の国あきたネット」に掲載している「スクールソーシャルワーカー活用リーフレット」を御覧ください。



SNS相談事業

- ・SNSを活用した相談を実施し、生徒等の相談に応じて、抱えている不安や悩み等の解消を図ります。
- ・相談対象者は、公立中学校及び義務教育学校後期課程の生徒になります。
- ・詳しくは下記のお知らせを確認してください。



中学校教員が、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーとともに効果的な連携の在り方について協議している様子です。

ひとりで悩まず話して安心 SNSの相談窓口 中学生LINE相談

期間：令和7年8月20日(水)～9月14日(日)までの水曜日と日曜日
 時間：16:30～21:30(最終受付:21:00)
 対象：秋田県内の中学生(義務教育学校を含む)

<相談する方法>
 右の二次元コードから「LINE友だち登録」をします。画面の下にある「メニュー表示」から「トーク相談する」→「相談を開始する」→「中学生ライン相談」へと進んでください。
 ※LINEを使っているスマートフォンで読み取ってください。

LINEを通じて誰にも知られず、いろいろな悩みを相談することができます。
 相談内容については、秘密を守ります。
 安心して、なんでも気軽に相談してください!!

問合せ先: 秋田県教育庁生涯学習課 (018-860-5148)

電話相談事業

- ・県内4か所にフリーダイヤルの相談電話を設置し、児童生徒及び保護者等の相談に応じて、抱えている不安や悩み等の解消を図ります。

子どもの悩みに関する主な電話相談窓口

子どもや保護者の方が抱える悩みや心配事について相談できる窓口はたくさんあります。いじめや不登校などの悩みは独りで抱え込まず、まずは電話してください。

窓口の名前	相談の内容	受付時間	電話番号	担当機関名
24時間子供 SOSダイヤル	いじめ問題等に悩む子どもや 保護者等の相談	365日 24時間	0120-0-78310	県教育委員会
いじめ緊急 ホットライン (すこやか電話)	いじめ問題等に悩む子どもや 保護者等の相談	月曜～金曜 8：30～17：00 祝日を除く	0120-377-914 0120-377-904 0120-377-943	北教育事務所 中央教育事務所 南教育事務所
すこやか電話	悩みや不安を抱えている子ど もや保護者等の相談	月曜～金曜 8：30～17：00 祝日を除く	0120-377-804	総合教育センター
やまびこ電話	子どもからの相談、家族や地 域住民等からの少年の非行等 に関する相談	月曜～金曜 8：30～17：15 夜間休日は当直員が 対応します。	018-824-1212	警察本部
子ども家庭相談電話	18歳未満の子どもに関する 様々な相談	365日 24時間	0120-42-4152	子ども・女性・障害 者相談センター (中央児童相談所)
児童相談所電話相談	育児や子育てなどの悩みを もっている人の相談	月曜～金曜 8：30～17：15	0186-52-3956 018-827-5200 0182-32-0500	北児童相談所 子ども・女性・障害 者相談センター (中央児童相談所) 南児童相談所
こころの電話相談	生活の中で生じる様々なここ ろの悩みに関する相談	月曜～金曜 9：00～16：00 土・日・祝日 10：00～16：00 次の期間を除く 12月29日～1月3日	018-831-3939	子ども・女性・障害 者相談センター (精神保健福祉 センター)
こどもの人権110番	いじめ、虐待など子どもをめ ぐる人権問題に関する相談	平日 8：30～17：15	0120-007-110	秋田地方法務局
秋田いのちの電話	こころの危機を抱えいろい ろな悩みをもっている人の相談	毎日 12：00～20：30 次の期間を除く 12月29日～1月3日	018-865-4343	いのちの電話事務局
秋田県教育協会 電話相談 ※学校を退職した元 教員や心理の専門 家等が相談員	子どもへの対応で、いろい ろな悩みをもっている保護者等 の相談	火曜・木曜 11：00～14：00 次の期間を除く 土・日・祝日 8月10日～8月16日 12月27日～1月4日	018-827-4453	秋田県教育協会

誰にも話せない、誰にも相談できない。そんなときは電話してみませんか。

令和 8 (2026) 年度公立高校入試から WEB出願システム を導入します



秋田県の公立高校では、令和 8 (2026) 年 4 月入学者が受検する入試から、全日制・定時制課程のすべての選抜において、オンラインで手続きができるWEB出願システムを導入します。

機能・特徴

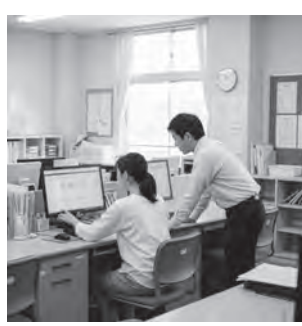
01 出願・志願先変更



出願は、システムに情報を入力（登録）し、中学校※の承認を得て、高校へデータが送信される形になります。志願先変更もシステム上で行います。

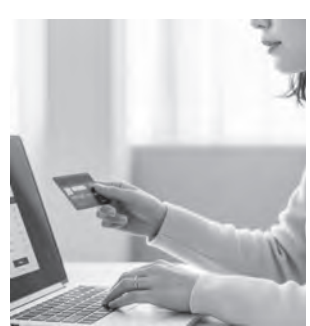
※中学校には、中等教育学校前期課程、義務教育学校後期課程及び特別支援学校中学部等を含みます。

02 資料の作成・提出



これまで「紙」で行われていた中学校・高校・県教育委員会間の資料の提出をシステム上で行います。

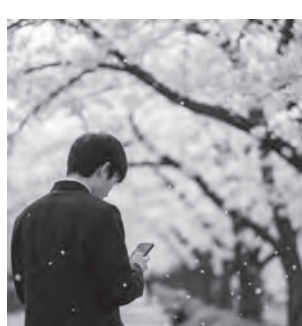
03 入学検定料納付



入学検定料は、クレジットカード決済、ペイジー決済、コンビニ決済のいずれかの方法で納付します。

※支払いがシステムに反映されるまでに時間がかかる場合がありますので、余裕をもって支払いを完了してください。

04 合否確認・得点開示



合否結果は、WEB出願システムにより確認できます。

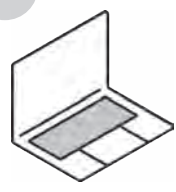
また、得点開示はシステム上で行われます。

※出願時に得点開示を希望する必要があります。

【掲載の画像は Gemini により生成しました】

必要なもの

パソコン等



インターネットに接続できるパソコン、スマートフォンまたはタブレットが必要です。

メールアドレス



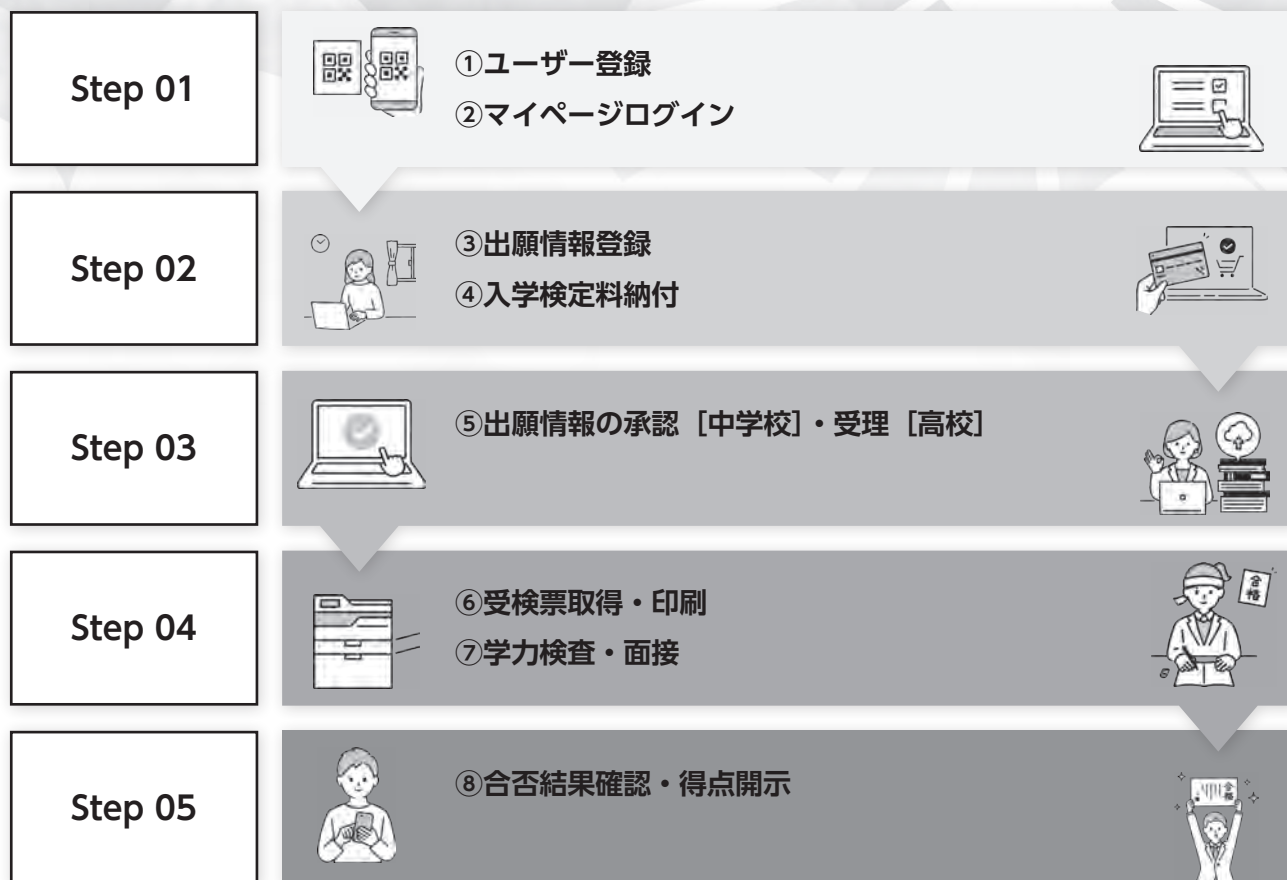
ログイン時に必要なワンタイムパスワードや学校等からのお知らせを受信するために必要です。

プリンター



受検票を印刷します。学校単位で印刷する場合は不要です。コンビニエンスストアのプリントサービスも利用可能です。

WEB出願システムの流れ



Q & A

Q：顔写真登録はどのように行いますか？

画像データのアップロードが可能です。

また、登録時に端末から直接撮影もできます。中学校での一括登録も可能です。

※出願時に各中学校からの指示に従ってください。



画面イメージです。
実際とは異なる場合があります。

Q：得点開示はどのように行われますか？

出願登録の際、「得点開示を希望する」を選択した場合に限り、受検した選抜、志願先の選抜方法に合わせて学力検査得点等を確認できる予定です。

Q：出願に必要な書類はすべてシステムでの入力ですか。

願書や調査書はシステムの入力フォームへの入力となります。志願理由書、活動報告書はWord等で作成、PDF形式での提出となります。

※実績等の証明書類もPDF形式での提出となる予定です。

Q：個人での受検申込だと、出願ミスや出願忘れ（遅れ）が生じませんか？

出願情報の登録は各受検生が行いますが、中学校でまとめてチェックした上で、最終的に校長が承認することで出願完了となります。

※出願状況、納付状況は中学校で確認可能です。

Q：問い合わせ先はどこになりますか？

秋田県教育庁高校教育課指導チームにお問い合わせください。

TEL：018-860-5165

令和7年度
県立・市立高等学校等

授業料無償化の制度について

令和7年度（令和7年4月分～令和8年3月分）授業料の無償化については、次の2つの制度で実施します。

① 高等学校等就学支援金

・年収約910万円未満世帯の高校生

新規

② 高校生等臨時支援金

・年収約910万円以上世帯の高校生

年間支給上限額
※学校種による

118,800円

① 高等学校等就学支援金
による支援

② 高校生等臨時支援金
による支援

910万円

年収目安

- ※ 保護者等の所得によって、どちらの制度の対象になるかが決定されます。
- ※ 7月に申請した「①高等学校等就学支援金」の判定で、所得制限以上となった場合に「②高校生等臨時支援金」が支給されます。
- ※ 世帯年収の目安は、給与収入のみの4人世帯（両親のうちどちらか一方が働き、高校生1人（16歳以上）、中学生1人の子供がいる世帯）をモデルとしています。

令和7年6月分まで所得制限以上世帯だった方の「②高校生等臨時支援金」の申請については、在籍している高等学校等を通じて、7月に手続きをしていただいております。

令和7年6月分まで「①高等学校等就学支援金」を受給していた方の「②高校生等臨時支援金」の申請については、「①高等学校等就学支援金」の審査結果が決定次第、別途申請手続きが必要な方に対して、学校から案内があります。※9月以降を予定

「①高等学校等就学支援金」及び「②高校生等臨時支援金」のいずれについても、原則として学校設置者が代理受領して生徒の授業料に充てるため、生徒本人に直接支給されるものではありませんが、「②高校生等臨時支援金」の申請前に、納付済の授業料がある場合は、認定後に学校から還付します。※12月頃を予定

**制度を利用するためには、申請が必要です。
在籍している高等学校等を通じて、申請してください。**

お問い合わせ先

- 教育庁高校教育課調整・企画チーム
- 在籍している高等学校の事務室

第50回全国高等学校総合文化祭

あきた総文2026を来年に控え、今年はプレ大会で大いに盛り上がり、加速度的に本大会の準備を進めています。

■あきた総文2026プレ大会について

8月1・2日の特別支援学校部門を皮切りに、全22部門のプレ大会が続々と開催されています。10月11日（土）には、開会行事として総合開会式（あきた芸術劇場ミルハス）とパレード（秋田市広小路）を開催します。



部 門	会 場		開催（公開）日
	所在地	名 称	
総合開会式 パレード	秋 田 市	あきた芸術劇場ミルハス 広小路	10月11日（土）
1 演 劇	大 館 市	ほくしか鹿鳴ホール	11月15日（土）～ 11月16日（日）
2 合 唱	大 仙 市	大曲市民会館	10月19日（日）
3 吹奏楽	秋 田 市	あきた芸術劇場ミルハス	12月24日（水）
4 器楽・管弦楽	秋 田 市	あきた芸術劇場ミルハス	12月 7日（日）
5 日本音楽	由利本荘市	由利本荘市文化交流館カダーレ	11月22日（土）
6 吟詠剣詩舞	湯 沢 市	湯沢文化会館	10月25日（土）
7 郷土芸能	湯 沢 市	湯沢文化会館	11月23日（日）
8 マーチングバンド・ パントワリング	秋 田 市	県立武道館	11月15日（土）
9 美術・工芸	秋 田 市	アトリオン	11月 7日（金）～ 11月10日（月）
10 書 道	秋 田 市	アトリオン	11月14日（金）～ 11月17日（月）
11 写 真	秋 田 市	秋田市にぎわい交流館AU、 アトリオン、県立美術館	11月20日（木）～ 11月24日（月）
12 放 送	大 仙 市	大曲市民会館	2月 7日（土）～ 2月 8日（日）
13 囲 碁	由利本荘市	ナイスアリーナ	11月14日（金）～ 11月15日（土）
14 将 棋	由利本荘市	ナイスアリーナ	11月 8日（土）
15 弁 論	能 代 市	能代市文化会館	11月15日（土）
16 小倉百人一首 かるた	大 館 市	タクミアリーナ	12月13日（土）～ 12月14日（日）
17 新 聞	湯 上 市	湯上市市民センターかたりあん	11月20日（木）～ 11月21日（金）
18 文 芸	秋 田 市	アトリオン	10月16日（木）～ 10月17日（金）
19 自然科学	秋 田 市	さきがけホール、あきたJ Aビル	11月23日（日）～ 11月24日（月）
20 茶華道	秋 田 市	秋田市文化創造館	10月11日（土）
21 情 報	秋 田 市	秋田市文化創造館	9月19日（金）
22 特別支援学校	秋 田 市	秋田市文化創造館	8月 1日（金）～ 8月 2日（土）

※美術・工芸部門：令和8年の本大会は、横手市開催です。

■生徒実行委員会について

6月29日（日）、県生涯学習センターにおいて第Ⅱ期生徒実行委員会委嘱状交付式が挙行政され、実行委員会会長（安田浩幸 県教育委員会教育長）から第Ⅱ期生28名へ委嘱状が交付されました。実行委員は県立・市立・私立高等学校及び県立特別支援学校高等部（計24校）に在籍する88名で構成されます。また、7月26日から開催された「かがわ総文祭2025」に参加し、香川県や石川県（2027いしかわ総文）の生徒実行委員会の高校生と交流してきました。



第Ⅱ期生徒実行委員会委嘱状交付式にて

5階

特別展 日本中の子どもたちを笑顔にした絵本作家 かがくいひろしの世界展

大人気絵本「だるまさん」シリーズの作者、かがくいひろし（1955-2009）。実は特別支援学校のベテラン教員だったかがくいは、日々子どもたちの興味を惹く方法を模索・思考し、その経験がのちの絵本制作へとつながっていきました。

本展では、全作品の絵本原画・制作資料、教員時代の貴重な映像や生徒とつくったユニークな教材などからその足跡をたどり、子どもたちを笑顔にする創造の原点に迫ります。

*会場は写真撮影OK、オールトークフリー（おしゃべりOK）！



©Hiroshi Kagaku

会 期：7月5日（土）～8月31日（日）
9：30～17：00（最終入館16：30）
会 場：5階展示室
観 覧 料：一般1,000円（800円）、高・大学生800円（600円）
（ ）内は20名以上の団体料金
中学生以下無料／小学生以下は要保護者同伴
○その他割引、関連イベントは当館ホームページをご覧ください。
主 催：かがくいひろしの世界展実行委員会
（秋田県立近代美術館・AKT秋田テレビ）

6階

秋田県立近代美術館コレクション展 第1期

余白を愉しむ

中国や日本の絵画において、「余白」は重要な役割を果たしてきました。その伝統を受け継ぐ、日本の近現代の画家たちの作品にも、「余白」を生かした作品が多く見られます。本展では「余白」に注目し、当館のコレクションより日本画を中心に約40点の作品をご紹介します。「余白」に想像を巡らせ、画家たちが伝えたかったものを感じてみてください。



福田豊四郎《五月山湯》 1933年
秋田県立近代美術館蔵

会 期：7月10日（木）～10月5日（日）
9：30～17：00（最終入館16：30）
会 場：6階展示室
観 覧 料：無料
関連イベント：担当学芸員によるギャラリートーク
9月6日（土）
14：00～（30分程度）

問い合わせ 秋田県立近代美術館（横手市）
Tel 0182 - 33 - 8855



あきた文学資料館特別展示

秋田が育てた童話作家 斎藤隆介展

今年は『モチモチの木』や『花さき山』などで知られる童話作家の斎藤隆介（本名・隆勝）が亡くなって40年の節目の年となります。昭和20年7月に秋田に疎開し、昭和33年に帰京するまで、隆介は秋田魁新報社やNHK秋田放送局、わらび座に所属しながら、秋田で活動していました。初めて斎藤隆介の筆名で発表した短編『八郎』が生まれたのも、のちにコンビを組むことになる滝平二郎と出会ったのも、秋田の地でした。本展では、斎藤隆介の業績について、作品の魅力や秋田との関わりを中心にご紹介します。

開催期間：令和7年9月3日（水）～10月31日（金）

開館時間：10：00～16：00

休館日：毎週月曜日

会場：秋田市中通6-6-10 あきた文学資料館

電話：018-884-7760

観覧料：無料

お知らせ information

県内の教育施設等で開催される
主なイベントなどを紹介します。

※詳しくは各施設にお問い合わせください。

☆ 大館少年自然の家 ☆

TEL 0186-43-3174

第40回オカリナ音楽祭～秋～

オカリナをはじめとした様々な楽器の音色が響く優しい演奏会です。今回は第40回を記念してスペシャルゲストが出演予定です。

開催日時：令和7年9月20日（土）

予定時間：9：00～14：00

観覧料：無料



What he left behind in
writing and drawing

えがかく、

菅江真澄 遺墨資料展

秋田県立博物館
開館50周年記念
企画展

文字と図絵から
真澄の記録の輪郭を辿る

2025 9/27 (土) ▶ 11/16 (日)

真澄に学ぶ教室 講演会 [日時] 11/9 (日) 13:30 ~ 15:30 [会場] 講堂
「真澄が見た生活風景 — 働く女性たちを中心に —」
[講師] 菊池 勇夫氏 (宮城学院女子大学名誉教授・一関市博物館館長)

(上 / 左右の人物) 『雪の道奥の市路』※1
(左下) 『雪の秋田屋』※2 (右下) 『みかへのよろい』※3
(背景文字) 『久保田の落穂』※4
※1 ~ 3 国重要文化財「菅江真澄遺墨展」
※4 加蔵

【会 場】秋田県立博物館 企画展示室

【開館時間】9:30 ~ 16:30 (11/1 から 16:00 まで)

【休館日】月曜日 (休日と重なった場合は次の平日)

【観覧料】無 料



AKITA PREFECTURAL MUSEUM

秋田県立博物館



■「教育あきた」は、県の教育関連施設や市町村の公民館、図書館等に設置しています。
また、県公式ウェブサイト「美の国あきたネット」からもご覧いただけます。

この印刷物は4,800部作成し、印刷経費は1部当たり21.50円です。



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

令和7年8月26日「教育あきた」No.761
発行・秋田県教育委員会
編集・秋田県教育庁総務課
〒010-8580 秋田市山王三丁目1-1
TEL.018-860-5112 FAX.018-860-5851
Eメール soumu-edu@pref.akita.lg.jp
<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/education>